

# 福井県の魅力・ブランドの発信と高校生のアイデアを生かした観光事業についての提言書

本県においては、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業に向けて、官民連携によるまちづくりが進んでおり、国内外の人々に対して福井県の魅力を伝え、発展していく大きなチャンスを迎えています。

福井の宝だと思われる、食・風景・伝統工芸などは多くありますが、全国的に知名度があるかという点、そうではないと考えています。「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」では福井県の観光課題として、「お土産や宿泊、若者や大人が楽しめるスポットに関する評価は全国平均より低く、リピーターも少ない」ということが挙げられていました。また、「現地での観光情報」についても低い評価となっています。

他県にも誇れる魅力があるにもかかわらず、それをうまく発信できていないように感じます。高校生等の若者の意見も取り入れていき若者目線や、外国人目線で福井の新たな魅力を発掘し、それを発信していくことが福井県の観光事業の活性化につながっていくと考えます。

そこで、国内外の幅広い世代の人々が楽しめる福井県のあり方を考え、次の事項について提言します。

- 1 外国人目線で魅力発信するために、観光課に外国の方を積極的に採用すること。
- 2 高校生が考案したグルメを観光地で販売しウォークラリー方式で巡るイベントを開催すること。またその様子を撮影した動画のSNS発信および多言語対応による外国人観光客の誘客をおこなうこと。
- 3 国内外の観光客のPRのために、県による、若者を中心とした「いいねフォトコンテスト」を実施し、その受賞作品等をインスタグラム等のSNSで発信すること
- 4 タレントやアーティストの方々とタイアップし、魅力的なお土産やご当地グッズづくりを推進すること。
- 5 伝統工芸品の創作体験や自然体験、農業体験などができる体験型の観光を増やすこと。
- 6 宿泊施設の少ない地域において、空き店舗や空き家を改良し、宿泊施設を増築する。その際、建物や各部屋のつくりを各地域の歴史や産業などの特色を盛り込んだ、福井ならではのものにする。

令和5年8月1日

福井県知事 杉本達治 様

丸岡高等学校 チーム「3233系」  
中嶋 琉亜  
篠島 優芽  
荒井 沙雪  
宗石 愛莉